

三五二七番

沖おきに住すも 小鴨をかものもころ 八尺鳥やさかどり 息いきづく妹いもを
置おきて来きぬかも

三五二八番

水鳥みづとりの 立たたむ装よそひに 妹いものらに 物言ものいはず来きに
て 思おもひかねつも

三五二九番

等夜とやの野のに 兎をうさぎねらはり をさをさも 寝ねなへ
児故こゆゑに 母ははにころはえ

三五三〇番

さ雄鹿をしかの 伏ふすや草くさむら 見みえずとも 児ころが金かな
門とよ 行ゆかくし良えしも